

この時間は単元のどの位置かを記載

2校時	3年	○人	算数	11/13	教諭	主眼は、学習活動（内容・方法）+付けたい力（目標）	一斉指導
-----	----	----	----	-------	----	---------------------------	------

単元（題材）は詳しく記載

単元（題材） 新しい計算を考えよう～わり算～  
 (何倍かを求める計算)

主眼：(1つ分の大きさ) × (いくつ分) = (全体の大きさ) という乗法の関係から、1つ分の大きさを基にして全体の大きさと比較する活動を通して、何倍かを求めるには除法を用いて、「いくつ分」を求めればよいことを理解できる。

評価規準(観点)：ある数のもとにする大きさの何倍かを求めるには除法を用いることを理解している。(知識・理解)

評価規準は観点を必ず記載

学習活動 ①問題を読み、見通しをもたせ、めあてを確認する(10分) ②個人で考えグループで交流する(10分) ③全体で発表する(15分) ④練習問題を解き、まとめる(10分)

問題

本時の流れを時間を入れて記載

めあて

たしかめ

1問でまとめず、練習問題で確認。

つなひきのロープの長さは36mです。大なわの長さは9mです。つなひきのロープの長さは、大なわの長さの何倍ですか。言葉と式で書きましょう。

言葉と式で書かせる

1つ分の長さぜんぶの長さをくらべ、いくつ分(何倍)かを求めると、どんな計算したらよいか考えよう。

○今日の学習のめあてを確認する

大なわとびで、ちえみさんのはんは21回、たかしさんのはんは7回とびました。ちえみさんのはんは、たかしさんのはんの何倍とびましたか。

○1つ分(もと)はたかしさんの班、全体はちえみさんの班ということを確認して、除法で問題を解かせる。それ以外の方法でも解き、除法が使えることを確認する。

○問われていることが「何倍か」ということを確認し、テープ図を提示する。

考え

○それぞれの考えを出させる。

36から9を4回ひくといいよ。でもめんどうだ。

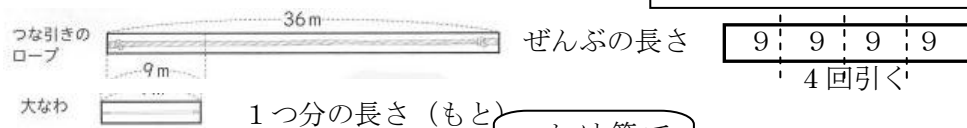
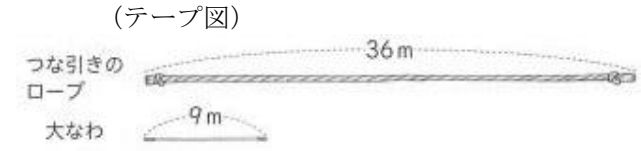
【引き算】  
ぜんぶの長さから1つ分を引く。  
 $36 - 9 - 9 - 9 - 9 = 0$   
答え 4倍

言葉と式で書かせて説明

まとめ

何倍かを求めるときは、(ぜんぶの長さ) ÷ (1つ分の長さ) のわり算が使える。

教師がまとめず、児童にキーワードを与えて、字数等の条件を付けて書かせる



かけ算でもできた。

【かけ算】  
 $1つ分 \times \square = ぜんぶ$   
 $9 \times \square = 36$   
答え 4倍

36の中に9がいくつあるかと考えるとわり算が使える。

【わり算】  
 $ぜんぶ \div 1つ分$   
 $36 \div 9 = 4$   
答え 4倍

ふりかえり

○今日の学習で何がわかったのかをキーワードを与えて、80字から100字で書かせて数名に発表させる。

○テープ図を手がかりにして、どんな式を立てたらよいか考えさせる。ぜんぶの長さ1つ分の大きさに着目させて見通しをもたせる。

見通し 既習事項を確認し見通しを

かけ算は、 $1つ分 \times \square = ぜんぶ$   
今日は、いくつ分がわからない。

